



病児保育室

ポッぽだより

2018.1 冬号



新年あけましておめでとうございます

新しい一年がお子さまにとって、また保護者の皆さまにとって笑顔たくさん的一年になりますようお祈り申し上げます。病児保育室ポッぽもより良い保育看護ができるように頑張りますのでよろしくお願い致します。年末から急に寒くなり、まだまだ厳しい寒さが続きます。乾燥している季節なので、体調管理に気を配りながら元気に過ごしたいですね。



インフルエンザの流行期です

昨年の年末からインフルエンザが本格的に流行し始め、保育室利用の問い合わせも増えていきます。

A型が終息し始めた頃にB型が出始めますが今季はA型、B型とも同時に流行しています。マスクの着用、手洗いうがい、部屋の加湿（50%～60%）を行い湿度をあげて予防しましょう。



入室した女の子と一緒に磁石ブロックでテーブルやイスを作っていると、ままごとの食べ物を並べ始めました。食べ物をお皿にのせてスプーン、コップも用意して(^^)しまじろうとはなちゃんを招待してパーティーが始まりました。どんどん遊びが展開していくのを見ていると、子どもの発想っておもしろいなあと感じます。



誤嚥・誤飲に注意！

年が明け、次のイベントといえば2月3日の節分の日。「鬼は外～、福は内～」と豆まきをする園やご家庭も多いと思います。節分の日には豆まきの豆の誤嚥事故が毎年おきているのをご存知でしょうか。飲み込んだものが気管や気管支に入ってしまうことを誤嚥といいます。

子どもののどは未発達なため、食べ物が食道ではなく気管に誤って入りやすく、特に豆類は窒息するおそれがあります。豆・ナッツ類は形や大きさ硬さから他の食品よりも気管に入りやすいため、窒息の危険に加え、小さな破片でも気道に入ったまま放置していると気管支炎や肺炎を起こすおそれがあります。症状は咳込んだり、むせたり、ゼーゼーしたり、呼吸が苦しくなります。節分だけでなく年間を通しておこる豆やナッツ類の誤嚥は3歳未満の子どもに多く発生しています。のどや気管につまるサイズの目安がトイレットペーパーの芯を通るものです。豆やナッツ類の他にもトマトやぶどう、スーパーボール等の小さなおもちゃも誤飲につながるので注意が必要です。トマトやぶどうは半分に切ってから食べましょう。

- ・3歳未満には豆やナッツ類をそのまま与えないようにする。
 - ・食事やおやつは座って食べる習慣をつける
 - ・食べ物やおもちゃを口に入れたままで、横になる、歩く・走る・飛び跳ねないようにする
- 周りにいる大人が気を付けて子どもたちの安全を守っていききたいですね。

